

いこま 市議会のうごき

もっと知ろう、いこまのこれから。

No. 159

令和6年(2024年)
6月定例会
3月 6月 9月 12月



第3回観光フォトコンテスト
生駒市観光協会賞「生駒の夕景」

4月臨時会・6月定例会 議会役員を決定

INDEX

議案審議	P.2-3
一般質問	P.4-8
議会のうごき	P.8
議決結果	P.9
正副議長就任あいさつ	P.10

HPでも詳細をご覧ください。
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>



4月臨時会・6月定例会 議案審議

補正予算案を全会一致で原案可決

6月定例会では、歳入・歳出にそれぞれ11億6609万円を追加する補正予算案が提案されました。

おもな内容は、定額減税の恩恵十分に受けられない方に補足的な給付を行うための経費、新型コロナウイルスワクチンの定期接種化にともなう経費、農業経営者に対する農業用機械・施設等導入支援補助金の増額などです。

また、追加提案として、歳入・歳出にそれぞれ80万7000円を追加する補正予算案が提案されました。

内容は、生活保護申請却下処分取消等請求事件の判決が確定したことにもなう、原告に対する損害賠償金などです。

賛成討論の論点

○適切な調査を行わずに生活保護申請を却下したことは重大な問題であり、却下するだけでその他の支援につながらなかったのは、市民に寄り添った対応とは言えない。今後の福祉行政においては、言葉だけではない、実をともなった支援を期待する。

令和6年度一般会計補正予算（第2回）の内容

項目	補正額
低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業	8億8,095万円
新型コロナウイルスワクチン接種の定期接種助成事業	2億8,393万円
農業用機械・施設等導入支援事業	121万円
【債務負担行為】 壱分幼稚園こども園化事業	4億593万円



現在の壱分幼稚園

4月臨時会

議会役員を決定

4月臨時会は、4月22日に開会し、正副議長を選挙をはじめ、議会役員を決定しました。

議長に吉村善明議員

副議長に恵比須幹夫議員

本会議での投票の結果、吉村善明議員が第54代議長に当選しました。

続いて、副議長選挙を行い、投票の結果、恵比須幹夫議員が第54代副議長に当選しました。

監査委員に改正大祐議員

議会選出の監査委員に改正大祐議員を選任することに異議なく同意しました。

また、常任委員会（企画総務、厚生文教、経済建設、予算）、議会運営委員会および議会改革特別委員会の委員を選任するとともに、各委員会の委員長および副委員長を決定しました。

新議会役員は、議会ホームページに掲載しております。

役員構成表はこちら▼



人事案件を審議

4月臨時会において、固定資産評価員の選任に同意するとともに、6月定例会において、病院事業推進委員会委員の選任に同意しました。

○固定資産評価員

岡田敬財務部長

○病院事業推進委員会委員

金田和彦消防長

意見書を国に提出

●刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書

意見書概要（要約）

現在の再審制度は様々な問題を抱えていることから、手続きの公平性などが担保されておらず、国に対して、えん罪被害者を一刻も早く救済するため、刑事訴訟法における再審手続き規定の整備および再審開始決定に対する検察官による不服申し立ての禁止について、速やかに改正することを求める。

なお、国へ提出した全文については、二次元コードからご覧ください。

意見書全文はこちら▼



生駒市ハラスメントの防止等に関する条例の制定の撤回を承認

この議案は、職場におけるハラスメント防止体制の更なる強化による快適な勤務環境の確立を目的に、令和6年3月定例会において提案され、継続審査としていたものです。

国や社会の動向をふまえ、カスタマーハラスメントを含めた職員へのハラスメントに関するアンケート調査を実施し、実態を把握した上で、再度議案を提案することを理由に、市長から議案の撤回請求があり、本会議において、賛成多数で承認しました。

賛成討論の論点

○アンケート調査などの実態調査の必要性やハラスメントの適用範囲を含めて検討すべき点があると考え、継続審査としたが、撤回理由や本会議における質疑から、懸案事項の解消が見込まれることから、撤回は妥当と考える。

反対討論の論点

○昨年からハラスメントに関する一般質問を行ってきたが、これまでの答弁や発言をふまえると撤回理由に理屈が通っていない。議案というボールが議

会にある以上、二元代表制における議会の役割を果たすため、市民や職員に自信をもって説明できる判断をする必要があると考える。

○撤回理由は納得できるものではなく、質疑などに対する答弁はつじつまが合わない状況の中、議員は自分の立場ではなく、被害者を守るための判断をするべきであり、議会で継続審査をするべきで以上、責任を持って最後まで審査するべきと考える。

○議会がアンケートを取った方が回答者の心理的負担は少なく、より実態をとらえられる。市の調査や条例の出し直しを待たず、議会が自らの調査権限を行使することで、早期に条例を制定でき、職員救済の観点などからもメリットがあると考えます。



アンケート調査による実態把握が行われます

県域水道一体化の市民説明会開催に関する請願書を賛成少数で不採択

令和6年11月の企業団設立の最終決定が目前に迫る中、県域水道一体化の内容がいまだに市民に十分周知されたとはいえないことから、最終決定の前に、県域水道一体化の内容、現状および参加によるメリット・デメリットについて、更なる周知徹底と、市民が質問できる説明会の開催を求める請願書が提出されました。

審査を付託された経済建設委員会では、委員から委員間討議実施を求める動議が提出されましたが、採決の結果、本動議を賛成少数で否決するとともに、本請願に対する委員会の審査結果は、賛成少数で不採択となりました。

また、本会議での審議結果も賛成少数で不採択となりました。

常任委員会のテーマを定めた調査の実施を決定

所管の事務を調査し、政策立案および提言につなげる「テーマを定めた調査」を実施することを決定しました。

今後、それぞれの委員会を担当課へのヒアリングなどを実施し、報告や提言を取りまとめていく予定です。

表彰状が贈られました

全国市議会議長会から市議会議員として15年間、市政の発展に尽くされた功績により、塩見牧子議員に対して表彰状が贈られ、本会議において、表彰状の伝達が行われました。



塩見牧子議員

各常任委員会の調査事項

- ・企画総務委員会
「法務政策について」
「ハラスメント事案の適切な対応について」
- ・厚生文教委員会
「学校におけるプール施設と授業の在り方について」
- ・経済建設委員会
「公共施設マネジメント推進計画の検証および再編に向けての手法について」

＼ここが知りたい！／

本会議の一般質問

6月
5日～7日
定例会

質問者数 14 人

掲載以外の質問内容もありますので、
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。
二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



熱中症対策について

成田智樹議員（生駒市議会公明党）

問 市は熱中症防止に向け、危機感を共有して取り組んでいるか。

答 4月1日施行の改正気候変動法を受け、全庁的に危機感を共有し、対策をより強化するため、熱中症対策推進会議を設置した。

問 また、今年4月から運用が開始された熱中症特別警戒アラート発表時の対応は整備されているのか。

答 4月1日施行の改正気候変動法を受け、全庁的に危機感を共有し、対策をより強化するため、熱中症対策推進会議を設置した。

問 また、アラートの発表時の対応についても、災害対応に準じるよう、同会議において協議を進めている。

答 公共施設、生涯学習施設などは基本的に指定する方向で検討を進めており、それでカバーしきれない部分は店舗などの民間施設などの協力を得て指定していきたい。

問 エアコン未設置の生活保護世帯への対応は。

答 保護開始時には真にやむを得ないと認めた場合に購入費上限6万7000円が補助される仕組みがあるが、受給中の方については、社会福祉協議会の貸付を案内している。

問 来年度以降、熱中症対策のための予算措置を検討すべきでは。

答 今後、適宜必要なときには確保していきたい。

問 身寄りのない高齢者の支援について



身寄りのない高齢者の支援について

梶井憲子議員（日本維新の会）

問 頼れる身寄りのない高齢者が亡くなった際の火葬や納骨に関するトラブルが全国的な問題となっている。

答 本市でも今後同様の事例が増えた場合、親族の調査や遺留金品の取扱いなど市の事務負担が増えることが想定されるが、現状の体制で対応できるのか。

問 死後のことだけではなく、エンディングノートなど生前の対応を可能な限り周知することで全体的な数字は減っていくものと考えているが、今後高齢者が増え、核家族化が進むことで身寄りのない方が増え、事務負担が増える可能性も考えられることから、先進自治体の事例を検討し、少しでも事務負担が軽減できるよう取組を進めていきたい。

答 エンディングノートの所在や緊急連絡先・遺言・相続・葬儀などの情報を市に登録しておく「終活情報登録制度」の導入は、市民の安心と行政の素早い対応につながると考えるが、制度の導入について市の見解は。

問 制度の詳細までは現時点で把握していないが、事務の負担軽減につながる取組と考えることから、先進自治体の事例なども含めて調査研究を行いたい。

答 ネットで起きる問題について、教育委員会は教職員に対しどのような研修などを行っているのか。

問 ネットで起きる問題について、教育委員会は教職員に対しどのような研修などを行っているのか。

答 令和3年度から全教職員を対象にICT支援員による情報モラル研修を行っており、教職員の情報モラル意識の向上、児童・生徒の不正使用の事例と対策、著作権、学校と家庭の連携などを学んでいる。

問 子どもたちの心身の発達への影響をどのように受け止めているのか。

答 スマートフォンなどの使用の習慣化や長時間利用が問題となっており、学校では必要なタイミングで使用する指導や休憩の声かけ、各家庭でのルールづくりをお願いしている。

問 デジタルにおける教育として、どのように捉え進めているのか、今後の取組についてはどうか。



ネットリテラシー教育について

辰口綾子議員（日本維新の会）

問 SNSの上手な付き合い方について、教育現場の立場からどのように教えているのか。

答 学校の授業の中で、SNSは便利な反面、誤解やトラブルが起りやすいものであることを知り、上手に活用していくことの必要性を学んでいる。

問 ネットで起きる問題について、教育委員会は教職員に対しどのような研修などを行っているのか。

答 令和3年度から全教職員を対象にICT支援員による情報モラル研修を行っており、教職員の情報モラル意識の向上、児童・生徒の不正使用の事例と対策、著作権、学校と家庭の連携などを学んでいる。

問 子どもたちの心身の発達への影響をどのように受け止めているのか。

答 スマートフォンなどの使用の習慣化や長時間利用が問題となっており、学校では必要なタイミングで使用する指導や休憩の声かけ、各家庭でのルールづくりをお願いしている。

問 デジタルにおける教育として、どのように捉え進めているのか、今後の取組についてはどうか。

答 情報化社会を生きる子どもたちが、適切に判断して有効に使えるよう家庭と連携し取組を進めていきたい。

問 デジタルにおける教育として、どのように捉え進めているのか、今後の取組についてはどうか。

答 情報化社会を生きる子どもたちが、適切に判断して有効に使えるよう家庭と連携し取組を進めていきたい。

問 デジタルにおける教育として、どのように捉え進めているのか、今後の取組についてはどうか。



生駒市立病院

医師会入会について



改正大祐議員（凜翔・絆）

問 4月9日に医師会に入会したのは市立病院なのか。正確な情報を発信すべきでは。

答 正確には、市立病院の遠藤院長が病院の管理者として入会したということであるが、同日付けで発表した記者会見資料のタイトルを「生駒市立病院が生駒地区医師会に入会しました」としているのは、多くの方々への伝わりやすさを考えての表記である。

問 入会し、今後どのようなことを期待しているのか。

答 これまでの取組とともに、市内病院間の連携強化や医師間の相互理解のもと、様々な取組・連携が進んでいくことを期待している。

問 市は市立病院の開設者として、指定管理者に指示、指導する体制が重要ではないか。

答 これまでも課題が発生した際には、市の担当職員と指定管理者の協議により課題解決に向けて取り組むとともに、内容により、対応の申入れも行っており、今後も連携して対応する体制の維持と強化を図ってきたい。

他の項目

● 本市の組織マネジメントとは

ひきこもり支援について



加藤裕美議員（無会派）

問 市は今年度からひきこもりの方に対する居場所づくり事業を新たに実施するが、他の自治体では参加者がチラシ配りなどの作業を行うことで自ら活動費を得て、活動費が支給される事例もある。このような仕組みを取り入れてはどうか。

答 参加された方に役割を持ってもらうため、まずは施設でできる軽作業やボランティアを行ってもらうことを考えている。活動費の支給も参加促進策の一つだと認識しており、先進地の事例を研究し、利用者がよりスムーズに自立に向かえるような施策を検討していきたい。

問 地域生活支援拠点では、障がいを持たれた方が自立した日常生活および社会生活を営むための支援が行われているが、制度のはざまの方も多いことから、地域生活支援拠点で、親亡き後の対応が必要な方への支援を行うべきと考えるがどうか。

答 地域生活支援拠点の利用は、現在障がいをお持ちの方が前提となっている。今後は障がい者を対象とする事業者および高齢者を対象とする事業者と協議し、制度のはざまの方を受け入れるなどあらゆる可能性を検討しなければならぬと考えている。

学校のいじめ問題について



高杉千代子議員（無会派）

問 本市のいじめの認知件数が、奈良県や全国に比べて多い理由は。

答 いじめの報告がないことのほうが問題と考え、軽微なものも含め積極的認知を行い、早期発見、早期対応、見逃しゼロを徹底しているため。

問 教職員の繁忙による影響を及ぼさないために、教科担任制や学年担任制の導入が必要と考えるが。

答 今年度より小学校高学年で教科担任制を進めている。専門性の高い授業の実施や教職員に時間のゆとりができ、多くの教職員で児童に関わることができるなどのメリットがあり、今後も進めていきたい。

問 いじめを傍観する児童・生徒を早期発見者またはピア・メデイエーションにつなげられるような指導は講じているか。

答 中には、ピア・メデイエーションの手法を用いて、子どもたち自身がいじめを解決していくような指導をする学級もある。

問 多様性を認めるような指導はなされているか。

答 おもに道徳教育で指導している。

問 スクールカウンセラーの配置は充足しているか。

答 今後必要であれば配置の拡充も検討したい。



市民活動推進センター ららポート

参画と協働のまちづくりと市民活動について



福中真美議員（澁翔・絆）

問 市民自治協議会をはじめ、自主学習グループなど様々な市民活動があるが、市民活動の支援および推進についてどのような課題があるのか。

答 市民活動を担う人材の育成、市民活動への財政的支援、市民活動の情報収集と提供、市民活動団体などとの連携と強化および活動拠点施設の維持の5点が挙げられる。

問 ボランティア団体からの要望を受け、「市民活動推進センターららポート」の移転が中止になった理由は。

答 ららポートの登録団体の利用状況や意見から改めて利用ニーズを把握し、移転を予定していたコミュニティセンター1階に求められる用途と比較したところ、現行の機能、ニーズのまま移転することは状況に合わないと判断し、再検討している。

問 健康づくりやボランティア活動を促進するため、ポイント制度を設ける自治体は増えているが、本市で導入予定の「地域ポイント」とは、どのようなものを想定しているのか。

答 地域活動などへの参加を促し、地元団体や事業者とのつながりを生み出すことで地域への参画や貢献への意識を高め、協創によるまちづくりを推進することを目的としている。

学校健診における児童生徒へのプライバシーの配慮について



山下一哉議員（生駒市議会公明党）

問 本市の小中学校の健康診断では、学校医の診察の際、児童・生徒はどのような格好で診察を受けるのか。

答 学校医によっても異なるが、多くの学校では着衣の状態での診察を受けている。なお、小学校では学校医の判断でブース内で脱衣し、上半身裸で受診する学校もある。

問 国は本年1月、正確な診察に支障のない範囲で、原則上半身裸ではなく体操服などで体を覆うなど、プライバシーに配慮するとともに、児童・生徒と保護者の理解を得ることを通知しているが、本市の対応は。

答 健診時の服装などはすべての学校で児童・生徒に口頭で説明し、保健だよりで周知している学校もある。今後も健診の方法や内容に不安を持たれないよう周知に努めるとともに国の通知を受け、対応に差が出ないよう学校医と協議し、可能な限り統一した考え方を示す方向で進めたい。

問 国は自治体に対し、医師会と健康診断の実施方法を協議するよう求めているが、状況はどうか。

答 学校医宛てに国の通知を送付し、各学校と担当の学校医が、児童・生徒のプライバシーを守りつつ必要な健診ができるよう協議している。

保育士の確保について



荻谷真治議員（日本維新の会）

問 令和2年度から入園申込み者は緩やかに減少し、園の定員も増やしているにも関わらず、今年4月時点で待機児童が出る理由は。

答 保育士不足により各園が定員まで募集ができなかったこと、また、今年4月に保育士の配置基準の見直しや開所予定であった小規模保育所の誘致が実現できなかったことが要因と考える。

問 保育士が働きやすい環境整備に関する本市の取組は。

答 公立園では、書類の簡素化や一元化、保育に必要な製作物のリサイクルなどの創意工夫、短時間保育士の採用による業務負担軽減、また、昨年度から支援システムを導入し、登園管理や保護者への連絡のICT化などの業務改善に取り組むとともに、ストレス管理やワーク・ライフ・バランスの支援など働きやすい環境整備を行っている。

問 保育士不足が各地で問題化している中、今後保育士の確保はどのようにしていくのか。

答 今後も待機児童の解消や保育の質の向上を図るため、保育士確保に向け、働きやすい環境整備や給与待遇面での配慮と魅力ある職場づくりを進めていきたいと考えている。



街頭防犯カメラ（イメージ）

安心安全なまちづくりについて

橋本宏淳議員（濃翔・絆）



問 防犯対策に防犯カメラ設置は有効な手段だと考えるが、公共施設の現在の設置状況はどうなっているか。

答 平成28年度に公共施設の防犯カメラの必要箇所を取りまとめ、設置事業を実施したことに加え、施設の建設の際に設置したものや追加設置・更新などを合わせると、現在69施設326台の設置を確認している。

問 公共施設以外に、自治会の設置状況は。

答 自治会が本市の防犯カメラ設置事業補助金を活用して設置されたもので、令和5年度までに26自治会、128台設置されている。

問 生駒駅周辺の防犯カメラ整備について、今後の計画は。

答 生駒駅周辺の公共施設には防犯カメラを設置しており、街頭防犯カメラについては令和5年度に設置に向けた調査を行ったが、現在のところ実施には至っていない。安全・安心なまちにつながる取組は複合的であることから、カメラの設置を含めた防犯力の向上や、犯罪が起きにくいまちの実現に向け、地域や自治会との連携を深めながら取組を進めたい。

他の項目

●喫煙所の設置について



会計年度任用職員制度の在り方および定員適正化計画について

竹内ひろみ議員（日本共産党）

問 本制度については、国でも雇用・経済政策を見直す動きがあるが、今後どのように運用していくのか。

答 専門的知識や経験が必要となる業務や、一定の期間に業務量の増加が見込まれる業務などについては、本制度に限らず任期付短時間勤務職員なども含めて多様な任用形態を活用していきたいと考えている。

問 人手不足が深刻化するなか、任期付短時間勤務職員や正職員への転換を行うなど、抜本的な処遇改善を図る必要があると考えるがどうか。

答 会計年度任用職員制度が始まって以降、単価の見直しなど、処遇改善は進めてきたが、今後も国の動向などを見て継続して行いたい。

問 本計画では、年齢構成の平準化が重視されており、第4次計画でも同様の方針を掲げていたが、どう取り組み、結果はどうであったか。

また、今後の取組方針は。

答 各世代の平準化を図るため、社会人採用試験を実施し、不足する年齢層の職員をある程度確保でき、一定の成果はあったと考えている。今後についても社会人採用を引き続き実施するとともに、多様な働き方や任用形態の活用を行いたい。



負担金方式による観光分野の企業人材の登用は適切か

塩見牧子議員（無所属の会）

問 市の負担で観光振興室に近畿日本ツーリスト社員を派遣してもらうことになった経緯は。

答 商工観光ビジョンの推進を見据えた専門性の確保が課題となる中、包括連携協定を締結した近鉄グループは、グループ内に多種多様な資源や人材のネットワークを有するため、専門人材の派遣を打診し、実現した。

問 行政文書を開示請求したが、作成日、作成者、派遣に至る意思形成過程が一切不明である。文書管理規則上問題ではないか。

答 最終的な方針決定に至る前の打合せや意見交換にとどまるとの位置付けからと考えるが、文書の在り方や作成の仕方を再度徹底したい。

問 包括連携協定のみで市が支出を伴うような登用をしているのか。

答 協定を根拠に双方が対価を出し合う契約行為をしているとは考えていない。専門性の導入と公務の公平公正の両立は重要であることから、派遣協定に派遣元企業への利益供与が生じない規定を盛り込んでいる。

他の項目

●家庭用燃料電池などによる公害対応について



森雄亮議員（凜翔・絆）

問 災害時において、迅速に市民の生命と財産を守り抜く観点から、県の災害時緊急連絡員とどのような訓練・調整を行っているのか。

答 県は年度当初に職員を各市町村へ派遣して、各自自治体の防災担当者
と意見交換を実施し、大規模災害発
生時における県と自治体との連絡要
領と業務について、現場でイメージ
アップする訓練を実施している。

問 本市における防災担当企画官の役割とは。

答 企画官は上司の命を受けて、平時における総合防災に関する事項と災害・危機管理事象発生時における事項を処理し、防災安全課職員を指導監督する。災害対策では、総合調整を担任し、防災・危機管理に関する職員訓練の企画実施および防災訓練・会議に関すること、また、自主防災の育成に関することを担任している。

問 自主防災会の育成に当たり、どのような課題があるのか。

答 自主防災会会員の高齢化と減少がみられるなか、いかに次の世代に自主防災組織を継承していくのか、また、役員が交代した際に防災意識をどのように持続していくのが課題であると考えている。



なばた幼稚園における保育受入れについて

浜田佳資議員（日本共産党）

問 高まる保育ニーズへの対応として、専ら幼稚園のこども園化に合わせ、関連施設としてなばた幼稚園の空き教室を利用しての小規模保育事業を行うことを検討すべきでは。

答 なばた幼稚園で小規模保育事業を実施し、（仮称）壱分こども園をその連携施設にすることについては、保育士確保や給食提供について課題があることから、現在、壱分幼稚園のこども園化を進めるなかで、なばた幼稚園の空き教室を活用した市内民間保育施設の分園について、並行して検討している。

問 （仮称）壱分こども園の具体的検討に合わせて、今、検討する必要があるのではないか。

問（仮称）壺分こども園の具体的検討に合わせて、今、検討する必要があるのではないか。

答 なばた幼稚園の空き教室を利用した小規模保育事業などの運営については、課題も多く、現時点では未確定なものである。引き続き小規模保育事業や保育施設の分園の誘致をするとともに、（仮称）壱分こども園がそれらの連携施設になれるよう、丁寧な定員設定を検討したい。

他の項目

●生駒南小・中学校の整備における
市民との意見交換について

7月		6月									5月	
12日	25日	24日	19日	17日	14日	13日	7日	6日	5日	3日	27日	17日
企画総務委員会	議会改革特別委員会	広報広聴委員会	災害対策委員会	広報広聴委員会	予算委員会	6月定例会本会議	全員協議会	議案説明会	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議

議会のうごき

9月定例会の会議の予定

8月22日(木)13時	議案説明会
28日(水)10時	議會運営委員會
9月2日(月)10時	13時 全員協議会
3日(火)10時	本会議
4日(水)10時	本会議
5日(木)10時	本会議
10日(火)10時	經濟建設委員會 予算委員會
11日(水)10時	厚生文教委員會 予算委員會
12日(木)10時	企画総務委員會 予算委員會
13日(金)13時	議案説明会
17日(火)10時	予算委員會
20日(金)10時	決算審査特別委員會
24日(火)10時	決算審査特別委員會
25日(水)10時	決算審査特別委員會
30日(月)10時	本会議

で、市議会のホームページをご覧ください。
 たくさん、お電話でお確かめください。

電話は、議会議務局（741-1111 内線5061）までお問い合わせください。

これからの
会議▼



令和6年4月臨時会・6月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案名	議決結果	共産党		公明党		凛翔・絆					維新		無所属の会			無	無	無					
		浜田 佳資	竹内ひろみ	恵比須幹夫	成田 智樹	山下 一哉	白本 和久	福中 眞美	吉村 善明	片山 誠也	改正 大祐	森 雄亮	橋本 宏淳	梶井 憲子	辰巳 綾子	芦谷 真治	中尾 節子	塩見 牧子	神山さとし	中嶋 宏明	伊木まり子	加藤 裕美	高杉千代子
生駒市ハラスメントの防止等に関する 条例の制定についての撤回について	承認	●	●	○	○	○	○	—	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●
県域水道一体化の市民説明会 開催に関する請願書	不採択	○	○	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●

◎議長（吉村善明）は、議決に加わらないため、「—」と表示しています。
◎会派名：共産党（日本共産党）、公明党（生駒市議会公明党）、維新（日本維新の会）、無（無会派）

○=賛成 ●=反対

全会一致で原案可決・承認・同意・了承とした議案

- ・市長専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）
- ・市長専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）
- ・市長専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）
- ・令和5年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・令和5年度生駒市水道事業会計予算繰越計算書
- ・令和5年度生駒市下水道事業会計予算繰越計算書
- ・専決処分につき承認を求めることについて（生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について）
- ・専決処分につき承認を求めることについて（生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）
- ・専決処分につき承認を求めることについて（生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）
- ・固定資産評価員の選任について
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・令和6年度生駒市一般会計補正予算（第2回）
- ・令和6年度生駒市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）
- ・生駒市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・市道路線の認定について
- ・生駒市病院事業推進委員会委員の任命について
- ・財産の取得について
- ・令和6年度生駒市一般会計補正予算（第3回）
- ・刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書

就任あいさつ



恵比須幹夫 副議長

吉村善明 議長

議長、副議長の就任にあたりまして、一言、ごあいさつ申し上げます。現在自治体を取り巻く環境は、急速なデジタル化をはじめ、様々な側面で大きく変化しており、市民生活の利便性の向上が見込まれる一方、新たな課題への対応が求められています。そのような中、二元代表制の一翼を担う市議会としても時代の変化に的確に対応できるよう、迅速かつ適正な議会運営が必要とされています。市議会としては、議員が一丸となり、議員相互の多様な意見を尊重しつつ、活発で真摯な議論を重ねることによって、市民のみならずからの信頼と負託に応えてまいりますので、今後も引き続き、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「いこま市議会のうごき No.158」アンケート結果

「いこま市議会のうごき No.158」で実施したアンケートの結果（一部）をお知らせいたします。

<自由記述欄>

- 18歳未満でも理解できる内容またはコーナーを作してほしい。若い子に住んでいる街を知ってもらうことが未来への投資だと思う。内容を簡潔にわかりやすくまとめ、学校などに貼り出しなどしてほしい。
- 議会での審議内容や議員の発言、市政のうごきを積極的に市民に知らせてほしい。

アンケート結果は市議会ホームページで公開しておりますので、ぜひご覧ください。▶



インストールはこちら▼



- #### 導入方法
- ① 「マチイロ」のアプリをインストール
 - ② 性別・生年月日を入力し、居住地に「生駒市」を選べば設定完了です。
 - ③ 自動的に最新号を配信します。

「いこま市議会のうごき」をより多くの方に届ける情報発信方法として、スマートフォンおよびタブレットで「生駒市議会のうごき」をご覧いただける「マチイロ」を利用した配信を始めました。

「マチイロ」のご案内

「いこま市議会のうごき」アンケート

今後の編集の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。

回答方法 締切：8月15日(木)

【インターネット】 <https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/0000034099.html>

【FAX】 0743-74-9481

【郵便】 〒630-0288 生駒市東新町8番38号 議会事務局あて

※郵便の場合は、下のアンケートに記入のうえ切り取っていただき、はがきに貼り付けるか、封筒に入れて郵送してください。



「いこま市議会のうごき No.159」質問項目と回答

問1 年代をお伺いします。

- A 18歳未満 B 18～39歳 C 40～64歳
D 65～79歳 E 80歳以上

問2 生駒市議会の活動などの情報はどこから入手していますか。（複数回答可）

- A いこま市議会のうごき B 市議会ホームページ
C インターネット議会ライブ中継 D 傍聴
E 議員のSNS F 議員のニュースレターなど
G その他（ ）

問3 「いこま市議会のうごき」について、ご意見・ご要望や読んでみたい記事などがあれば自由にお書きください。

編集後記

令和6年度が始まり、広報広聴委員会も新たなメンバーでスタートしました。昨年度から実施している本誌のアンケートですが、今年度も引き続き実施し、みなさまのご意見を参考にさせていただきます。市議会の活動をより分かりやすく発信していきます。前号より「マチイロ」アプリでも市の広報紙と同様に議会報も見られるようになりましたので、是非ご利用ください。6月議会では、3月から継続審査であった生駒市ハラスメント防止条例案が撤回され、カスターマーハラスメントの追加を検討し、より良い条例として再提案することです。生駒市役所の職場環境がより良くなることを切に願います。